

2017 年 8 月 28 日
リーズンホワイ株式会社
代表取締役 塩飽哲生

ホワイトプロット マップ WhytPlot 新機能「WhytPlot MAP」β版リリース！

～ 病診・病病連携における患者さまの流れが推測可能に ～



CTO 金子による開会のご挨拶

「医療×AI で全人類の寿命を 1 秒伸ばす」をビジョンとするリーズンホワイ株式会社（本社：東京都港区 代表取締役：塩飽哲生 以下、リーズンホワイ）は、2017 年 8 月 23 日、丸ビルホール&コンファレンススクエアにおいて、「Whytplot（ホワイトプロット）」の新機能である「WhytPlot MAP（ホワイトプロットマップ）」の説明会を開催いたしました。

医薬品関連企業を中心とする数多くの皆さまにご参加いただきましたことを心より御礼申し上げますとともに、この新たな機能が、企業の皆さまのお役に立ち、ひいては患者さまと
そのご家族の皆さまのお役に立てると自負しております。



演題：「WhytPlot シリーズ」のご案内
～ 新機能「WhytPlot MAP（β版 9月提供開始）」
のご紹介 および デモンストレーション ～

登壇者：

リーズンホワイ セールスディレクター 今西是裕

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年の医療制度改革に向けて、病床の機能分化や連携を進めるための地域医療構想の必要性が声高に叫ばれている昨今、製薬企業におけるエリアマーケティングが新たな局面を迎えているのは必然です。

我々が定義するエリアマーケティングとは、エリアごとの患者さんの流れを最適化し、課題を解決することで、得意先との関係性が強化され、得意先の患者さんや処方数が増加し、エリア内の市場を発掘しながら、売上拡大につなげることだと考えています。

そのような中、「WhytPlot MAP」では、患者さんの流れを地図上で推測することにより、視覚的にエリア内でのターゲティング分析やターゲティング先の医療機関の課題を把握することが可能となり、エリアマーケティングの強化や営業組織の再編に一層のアドバンテージになると確信しています。

さらに、既存の「WhytPlot エリアマーケティング（2017 年 3 月リリース）」と組み合わせることで、ターゲット先とした DPC 病院の疾病別患者数や、そのエリアへの流入・流出状況をクリックひとつで、簡単にデータで把握することも可能となります。



今後も進化を遂げ続ける「WhytPlot」をよろしくお願いいたします。

▼「WhytPlot MAP（ホワイトプロットマップ）」とは

以下のような公開データを一元的に集約し、地図と組み合わせることで地域の患者の流れの最適化を図るためのツールです。

- ・ 地方厚生局が公開する保険医療機関一覧から引用した病院の基本情報
- ・ 地方厚生局が公開する各病院の施設基準の届出受理状況
- ・ 都道府県が公開する各病院の病床機能報告集計結果
- ・ 都道府県が公開する各病院の現状と 6 年後の医療機能ごとの病床数
- ・ DPC 評価分科会が公開する各病院の疾患群別患者数
- ・ 機能評価係数Ⅱの保険診療指数の項目として設置された「病院情報の公表」データ

また、近隣の医療機関が届け出ている施設基準や医療機能ごとの病床数、疾患群別の患者数の推移、連携のある医療機関の名称や位置が容易に把握できます

▼本件に関するお問い合わせ先

リーズンホワイ株式会社 担当：今西・^{しだわら}四俵

TEL：03-5530-8297 Email：whytplot_sales@reasonwhy.jp